

Oh-o! Meiji

公開シラバス

年度	2016 年度				
授業科目名	理工学部 卒業研究1				
担当教員	中 所 武 司 教授				
開講日	秋学期集中／その他／その他	単位数	4	キャンパス	生田
授業言語	日本語				

授業の概要・到達目標

ソフトウェア工学関連の研究テーマを設定し、研究計画から研究成果の評価までの一連のプロセスの経験を通じて、自ら考え、自ら行動する力を養う。
具体的には、ソフトウェア生産技術分野に関して、問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、技術報告書作成能力の習得を目標とする。

授業内容

- [第1回] 全体の進め方の説明
- [第2回] 卒業研究テーマ選定、その関連文献調査と研究アプローチの決定など。
- [第3回] 卒業研究テーマ選定、その関連文献調査と研究アプローチの決定など。
- [第4回] 卒業研究テーマ選定、その関連文献調査と研究アプローチの決定など。
- [第5回] 技術課題の明確化と解決案の提示など。
- [第6回] 技術課題の明確化と解決案の提示など。
- [第7回] 技術課題の明確化と解決案の提示など。
- [第8回] 技術課題の明確化と解決案の提示など。
- [第9回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第10回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第11回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第12回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第13回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第14回] 解決案の実現と評価・改良など。
- [第15回] 前期中間報告書の提出。

履修上の注意・準備学習の内容

ソフトウェアに関する研究は、実際にその有用性と実現可能性を示すことが重要なので、プロトタイププログラムを開発しながら進めていくことを推奨する。
研究状況報告に際しては、実施内容や技術課題や考察に関して、説得力のある根拠を示すことが望ましい。また、他の人の発表の時に積極的に質疑・討論に参加することを求める。発表終了後、発表者は議論した内容を議事録にまとめて、研究室のメーリングリストに流すこと。議論の時に答えられなかった質問については、後で調べて、議事録に掲載すること。

教科書

特になし

成績評価の方法

日常の研究態度、数回の研究状況報告と討議内容及び期末の中間報告書における研究アプローチの明確性と研究結果に関する説得力のある意見の有無を総合して評価する。なお、日常の研究態度には、他の人の発表の時の質疑・討論への積極的参加を含む。

指導テーマ

システムエンジニアリング(情報システム構築技法)の分野の Web アプリケーション構築技法や Web サービス連携技法を中心テーマとし、ソフトウェア開発環境(ソフトウェアアーキテクチャ、モデリング)、ソフトウェア設計技法(オブジェクト指向設計技法、フレームワーク)、プログラミング技法(オブジェクト指向プログラミング、コンポーネント)、ソフトウェア工学への人工知能応用(マルチパラダイム、エージェント)などの個別テーマも扱う。

進行計画

前半では、卒業研究テーマを選定し、その関連文献調査を行ないながら、研究アプローチと技術課題の絞込みを行なう。
後半では、技術課題の明確化と解決案の提示及びその解決案の実現と評価・改良などを行い、最後に中間報告書をまとめ、夏合宿で発表する。
全体を通じて、順番に研究状況報告を行ない、全員で議論する。